

ノイエスだより

ノイエス朝日(朝日印刷工業株式会社)
群馬県前橋市元総社町七三ー五
TEL 027・2555・3434
FAX 027・2555・3435
http://www.neues-asahi.jp

国内の災害や世界各地でおきている紛争など、テレビやインターネットを通してたくさん映像を目にし、様々な立場の人の意見を聞いていると、その訴えや疑問に正解やゴールがないような気がして暗い気持ちになってきます。それでもここにいる私はコロナ禍とはいえ日常を送り、沈んだ日はのぼり、季節は流れ、地面は温まり、桜のつぼみも大きくなりました。こうやって自然はどんなことがあると、人間の歴史を見守ってきたのでしょうか。世界中的なるべく多くの人が安全で幸せに生きることができるよう祈るばかりです。春といえば出会いと別れの季節で、新生活に向けてドキドキしている若者も多くいる時だと思えます。懐かしい感情です。別れを悲しみ、出会いに不安を覚えることも何度か繰り返すうちに、気が付けばそれほど感情的になることもなくなりました。

最近ノイエスのスタッフ同士で「初対面の人とか見ず知らずの人に何か聞くことを躊躇しなくなつて、デリカシーも減つたわよね」話したりしています。意図してなろうと思つたわけではないのですが、子どものころ恥ずかしがつてできなかったことも、聞くは一瞬の恥と知つてか、思つたことをどんどん聞いたりやつたりするようになりました。私も子どもの頃はアイスクリーム屋さんで注文することができずととれを見ていたと聞きました。今なら買えなくて、両親は面白がつてととれを見ていたと聞きました。今なら営業時間後でも人影があれば「まだ買えますか？」と聞くこともなんと思いません。時間の経過とともに刹那的な感情や出来事に鈍感になつていくことで、なんとか様々な困難を乗り越えることができるのは、人間の一つの能力でもあるのではないかと開き直つてさえます。

でも、経験を積んでも鈍感にならない方もいますし、特に様々な事象に繊細さと敏感さを持ち続けているのは表現者やアーティストの人々だと思えます。美しい自然への感動、日常の断片、人間のめくるめくる感情、歴史への敬意などをそれぞれの作品へ新鮮に映し出しています。このノイエスや近くの美術館でも、詩歌や小説、映画や音楽の鑑賞も、そういった作品に出合うことは、自分では鈍感になつて忘れそうになつた事柄を改めて感じることができる機会だとも思えます。逆に繊細で複雑になつた辛い状況にある人の心を救つてくれるのもそういった作品かもしれません。

そういえば子どもの頃、知らない国で未だに戦争が行われていると知つて涙が出るほどつらくて悲しみ、自分の無力を恥じていたことを思い出します。その気持ちも鈍感になつてしまつているのかもしれないと思うと、鈍感力が生活力の向上とばかりも言つていられない気がします。そんな危機感を覚えつつも、世の出来事には鈍感になつて今咲こうとしている桜を愛でたいという気持ちも捨てられない複雑な中期です。

(橋本)

ノイエス朝日〈展覧会〉のご案内

マスク着用と手指の消毒は引き続きお願いいたします。

第21回 春の作品展

ニットソーイングクラブ真

会期 四月五日(火)～七日(木)

午前十時～午後五時

(最終日は午後三時終了)

会場 ノイエス朝日 スペース1・2

お問い合わせ先

ニットソーイングクラブ真

設楽治美 027・235・0302

高橋孝雄展 〈企画〉

会期 四月九日(土)～十七日(日)

午前十時～午後五時

会場 ノイエス朝日 スペース1・2

「水の音」の連作約五十点をメインに展示します。

二〇一八年以来二回目となるノイエスでの個展です。

第25回 樺澤健治作陶展

会期 四月二十二日(金)～二十八日(木)

午前十時三十分～午後六時

(最終日は午後四時終了)

会場 ノイエス朝日 スペース1・2

第28回―油彩画グループ―

金曜会展

会期 五月十日(火)～十二日(木)

午前十時～午後五時

会場 ノイエス朝日 スペース1・2

出品者 桑原榮子 岡本美智子 石井志げ 狩野美重子

久保田和子 塩谷充代 角田邦子

賛助出品 島崎庸夫先生

〈連絡先〉桑原榮子

〒三七〇・三五〇一北群馬郡榛東村長岡一五五

電話〇二七九・五四・七二六八

〈釣り人愛用アルポット〉

アウトドア用品は非常用にも使えます。(ついつい買ってしまう言い訳でもあります。)そして、しまっておくよりも「気分転換にちよつと庭先で食事でも…」といった具合に頻繁に使うのがいいと思えます。石炭や薪で火を起こすのは面白いですが、大変だしダメな地域もあると思えます。手っ取り早いのはガスですが、風の強い群馬ではアウトドア用のガスバーナーでもお湯が沸かなかつたりします。そこで、夜な夜な調べてポチッとネット購入してしまったのが、「アルポット」という湯沸かしセットです。ちよつとかさばりますが、車移動や庭先での利用なら問題なしです。

これはアルコール燃料を使って、二重構造になつた筒のような湯沸し器で、アルコールランプが風にあたることなく中の器を温めることができる仕組みです。釣り人愛用品という口コミで、風の強い海の上や海岸でも使えるそうです。お米と一緒に煮るとご飯も炊けるそうです。

赤城の雪原で使う機会があつたので先月ウキウキと試してみましたが、少し時間がかかりますが、吹雪に近い中でもしつかりお湯が沸き、おいしいコーヒーが飲めました。寒い中温かいものが飲めるのは嬉しです。

別に用具を買う必要はないとも思いますが、ちよつとお弁当を持つたり買つて出かけて公園などで食べるのも楽しいものです。暖かくなつてきたので「外食」おすすめですよ！

